

◆ 西東京会通信 ◆

立川公園沿いの桜

公益社団法人 日本産業退職者協会

『 新年度を迎えるにあたり 』

代表幹事 塩山 哲郎



年明けから約2か月半に及んだ新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言の期間中、不自由な生活を余儀なくされましたが、会員の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのことと存じます。西東京会は、昨年11月に創立10周年を迎えましたが、コロナ禍、企画していた記念行事は延期となりました。イベントにつきましては、2月の寄席・落語鑑賞会は中止となりましたが、3月末の観桜会は、満開の桜と天気にも恵まれ実施することが出来ました。日退協の目的は、「社会貢献」と「会員間の親睦」を二つの柱としております。新年度の本部方針は、原点に立ち返り、特にSDGsを中心とした社会貢献事業を推進することを決定致しました。(詳細はマチュリティ112号P. 10をご参照ください。)

西東京会は、社会貢献活動として以前からペットボトルキャップ回収を実践しております。一方、会員間の親睦につきましては、世話人会で、会員の皆様が興味を持てるイベントを企画して参りますので、是非ご友人知人をお誘い合わせの上、ご参加いただきます様お願い申し上げます。引き続き、会員の皆様方のご支援、ご協力、そしてイベントへのご参加を重ねてお願い申し上げます。

【 会員増強運動にご協力ください 】

代表幹事 塩山 哲郎

日退協の個人会員は3月末現在、関東地区(神奈川会、埼玉会、京葉会、西東京会)で425名、広島支部で394名、計819名、家族会員458名を加えると合計1277名となっております。内、西東京会個人会員は84名となっております。協会活動の企画・運営を支える個人会員の数が、近年大幅な減少傾向にあります。

退会理由の多くは高齢化に因るものですが、協会活動を円滑に運営し更に魅力アップする為には、個人会員の増強が不可欠です。

会員の皆様には、新会員勧誘のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

※毎月の定例会(サロン)へのお誘い

毎月第一火曜日の午後3時から世話人会と称し、開催しております。内容はイベント開催打合せと会議後の懇談・会食・カラオケ等々です。現在はコロナ禍に当たり、ZOOMによるリモート方式で開催しております。

西東京会世話人一覧表

代表幹事	: 塩山 哲郎	練馬区高野台
副代表幹事	: 安藤 隆夫	国分寺市西町
	: 遠間 ひで子	日野市南平
会 計	: 小野 利明	府中市四谷
書 記	: 今野 雅隆	国分寺市泉町
	: 恒成 憲一	西東京市保谷町
広報(通信)	: 出射 義幸	小金井市回田町
	: 吉本 優子	小平市学園東町
	: 西村 修	三鷹市北野
総務(名簿・会場)	: 比留間 文子	武蔵野市境南町
	: 遠間 ひで子・西村 修	
HP担当	: 岸 伸和	西東京市芝久保町
幹 事	: 谷合 幸江	小金井市東町
	: 西納 政光	国分寺市新町
	: 橋本 隆夫	東久留米市本町
	: 福島 龍郎	武蔵野市吉祥寺南町
	: 松崎 敏夫	所沢市小手指南
	: 湯藤 哲	三鷹市牟礼



持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。下記URLから外務省をご覧ください。
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gai ko/oda/sdgs/about/index.html>



「根川緑道・矢川緑地に今年の桜を観る」
令和3年3月30日(火)開催 参加者19名

国分寺市 今野 雅隆



コロナ禍で、昨年中止となった春のイベントが開催されました。多摩モノレール線「柴崎体育館駅」改札口に13時30分に集合。中央線の事故の影響をうけて出発が10分ほど遅れましたが薄曇りの中、ポイントカードに押印の後、全員元気に歩き始めました。出発して5分ほどで、モノレールと交差して東西に伸びる根川緑道に入り、「桜の花の行列」のお出迎えを受けました。まずは「幹事会」で色々検討して決定した日程がドンピシャだったことに一同にんまり・・・

初めに、Aゾーンで、満開の桜を楽しみながら水生生物や水鳥を観察しながら先に進みました。最近スマホに入れたばかりの植物図鑑のアプリで植物の名前を調べながら15分ほど散策するうちに、折り返し地点の残堀川の湧水口に着きました。残堀川の堤防の見事な桜並木を十分堪能して、Aゾーンの入り口まで戻り、引き続き桜に溢れたB・C・Dゾーンに進み、途中休憩を挟んで、シートを敷いてお花見を楽しむ家族連れなどを横目に「貝殻板橋」まで約1時間で歩き切りました。ここで小休止の後、30分ほどで矢川緑地まで一気に歩きました。緑地は、一昔前と比べると湿地が枯れかかっていたいましたが、人数が少なく見事な桜の下で記念撮影をして矢川の駅に向かいました。コロナ禍の時節柄、恒例の懇親会は中止とし、約8000歩のイベントを終了しました。



『五行歌』

三鷹市 湯藤哲



会社時代からの旧友の一人を紹介します。彼は大変温かい雰囲気のある漫画を数多く作成し、会社時代は組合報の挿絵、或いは毎年の年賀状にと腕を奮っています。この度彼は長年取り組んできた五行歌で「第30回五行歌全国大会」第一席(応募総数402首)に選ばれました。閉塞感に囲まれた昨今に一服の清涼感になるかと私の大好きな二首と共に三首紹介させて下さい。

(第一席入選作品)

※ハンニャとオカメのお面 妻は巧く使いわけるが

私はいつもヒョットコのまま

(私が共鳴し、また座右の銘ともしている二首)

※モリ、カケや桜には大き過ぎるくせにウイグル、

香港には東照宮の三猿になる この国の知識人

※この歳まで 程よく生きた幸せ これから先は 何でも来いのオマケ人生

節分の日是谁が決める？

所沢市 松崎 敏夫



今年の節分は37年ぶりに2月2日でした。現在の暦には節分などという日はないわけで、これは旧暦の話。では旧暦は誰が決めているのか？新聞にも一部出てましたが、国立天文台が毎年、「二十四節気と雑節」を発表しているそうです。

節分はこの雑節です。この24節気と雑節は、旧暦では季節の感覚とずれてくるため、ある意味太陽暦での修正のようなものです。そういう意味で、現在の暦では節分の日は毎年大体決まった日になります(旧暦では毎年違った日になります)。現在カレンダーに旧暦が表示されているものは1884年に導入された天保暦です。太陰暦の難しいところは、1年の長さが短いので、およそ19年に7回閏月を置かなければならないことです。この置き方の方式が、天保暦の前の寛政暦から方式が変わったため

(24節気を時間分割から、太陽の軌道に基づいて空間分割する方式)、定義どおりに運用すると、2033年の8月から翌年の1月の間に閏月を入れる必要があるにもかかわらず、どこに入れて良いかが一義的に定まらないという問題があるようです。2014年から関連団体等で検討しているようですが、結論はなかなか出ないようです(旧暦2033年問題)。決定権が定まっていな難しさがありません。それにしても29年しか運用されなかった天保暦が2033年まで運用に耐えていた事実は凄いと感心するばかりです。

新型コロナウイルスの時代~未来に向けて

小平市 吉本 優子



コロナが流行して、一年四ヶ月位になります。この時代は、私達が生きていくのに人間の生きざまを色々見させていたたり、コロナと共に上手につき合っていくのにどうしたら良いかを考えてきました。結局、為すがままずると時は過ぎ、感染も収まりません。多少、下がりぎみに成りましたが、まだまだ油断が出来ません。その中、日退協の皆様とは会う機会がなく、ついこの間の三月上旬にはリモート会議を行い、私共初めての経験です。少し長く生きていると経験した事のないこと迄、やるのに戸惑います。なんとなく無事終了し安心しました。でも感染に負けるわけにはいきません。この時代でも何か明るい一筋を見つけ、自分で何かしたいと模索していきます。夢、努力をすれば一歩でも実現できればと思います。

「西東京会通信」編集責任者及び問い合わせ先

公益社団法人 日本産業退職者協会

「西東京会」 代表幹事 塩山 哲郎

携帯 :090-5793-8243

TEL :03-3904-0879

e-mail : k-soltmt5@bell.ocn.ne.jp

事務局 西村 修 090-8331-4448 may40love@jcom.zaq.ne.jp